

協議会だより

DHA・EPA協議会
 〒151-0062
 東京都渋谷区元代々木町 32-7
 一般財団法人日本水産油脂協会内
 TEL & FAX: 03-3469-6931
 URL: <http://www.dhaepa.org/>
 E-mail: dha_epa@par.odn.ne.jp

事務局 南部 章

釧路港のマイワシ水揚増加は僥倖となり得るか

最近、マイワシの資源回復が話題になっております。ご承知のようにマイワシは資源変動の激しい魚類です。豊漁期には国内で400万トン以上の水揚がりましたが、不漁の時期には数万トンの水揚に留まっています。

釧路では、2011年に900トンのマイワシ水揚が見られそれ以降は年々増加し、2017年は77,000トン、2018年は73,000トンの水揚がありました。1988年には77万トンの水揚がありその当時と比べるとまだ1/10程度の水揚にすぎませんが、資源が回復傾向にあることは専門家からも指摘されており、確実性が高いと思います。2019年のTAC(漁獲可能量)についても大幅な引き上げが提案されています。

このようなことから、魚油の原料となるマイワシの豊漁が期待できると思いますが、ここに問題が立ちはだかっています。それは、釧路地区のマイワシ処理能力の問題です。

釧路市では1970年代に水産加工団地が建設され、1976年の時点で魚油・魚粉工場が10工場(処理能力4,050トン/日)あり、水揚がピークとなる1980年代後半には24工場(処理能力13,350トン/日)に増加しました。24船団の大中型巻き網漁船が24時間操業し、マイワシは工場に搬入され24時間稼働して魚油・魚粉が製造されていました。大量漁獲/大量処理体制が構築されていました。

ところがマイワシ水揚量の減少と共に、巻き網船団の操業は皆無となり1995年には4工場に減少しました。現在では釧路市の魚油・魚粉工場は2工場(1,350トン/日)となり、往時の1/10の処理能力になっています。

ここにきて、マイワシ資源が回復しても釧路市内の2工場だけでは処理しきれないという問題があります。昨年、一昨年と陸上の処理能力に応じて巻き網船団による漁獲調整がなされたと聞いています。

「処理能力が少なければ大きくすればよい」という結論になりますが、簡単には進まない事情があります。工場新設には数億円かかりメンテナンスも多額になります。マイワシが漁獲されるのは1年の内の僅か4か月であり、初期投資を回収するためには稼働後10年程度かかると言われています。また、大きなリスクとして今後マイワシの漁獲が何年続くのか、どれだけの水揚量が期待できるのか誰にも予測ができません。1980年代のマイワシの豊漁期には、工場を新設した多くの業者はその後の急激な資源減少によって、投資した資金を回収できずに廃業してしまいました。当時を知っている方々にとって、苦い記憶になっていると思います。

このままでは、折角回復した資源を有効に利用できないことになってしまいます。今後の動向が気になるところです。

(一財)日本水産油脂協会が例年夏に水産油脂資源講演会を開催しておりますが、一昨年に行った講演会の内容を中心にご紹介させていただきます。

《幹事会のうごき》 平成30年1月21日(月)～1月23日(水):幹事各位のメールにより議題を審議した。

- ・ 関連情報の送付方法について電子媒体による送付を検討した。各位の意見をまとめ、改めて幹事会で話し合うことにした。
- ・ 次年度公開講演会について、アイビーホール青学会館において10月23日(水)に開催することで仮予約した。詳細については、開催が近づきましたら改めて連絡いたします。
- ・ 研修会の訪問先について、幹事各位が意見を述べた。

《2018年1月～12月の魚油の輸入累計》

出典:財務省貿易統計

2018年12月			2018年1月～12月		
輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)	輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)
957	289,462	302.4	16,065	4,075,344	253.7

《魚油の国際価格》 (単位:US\$/トン)

出典:OIL WORLD

	2018年12月	2018年11月	2017年12月
Fish oil, any orig, cif N.W. Eur	1,500	1,455	1,938